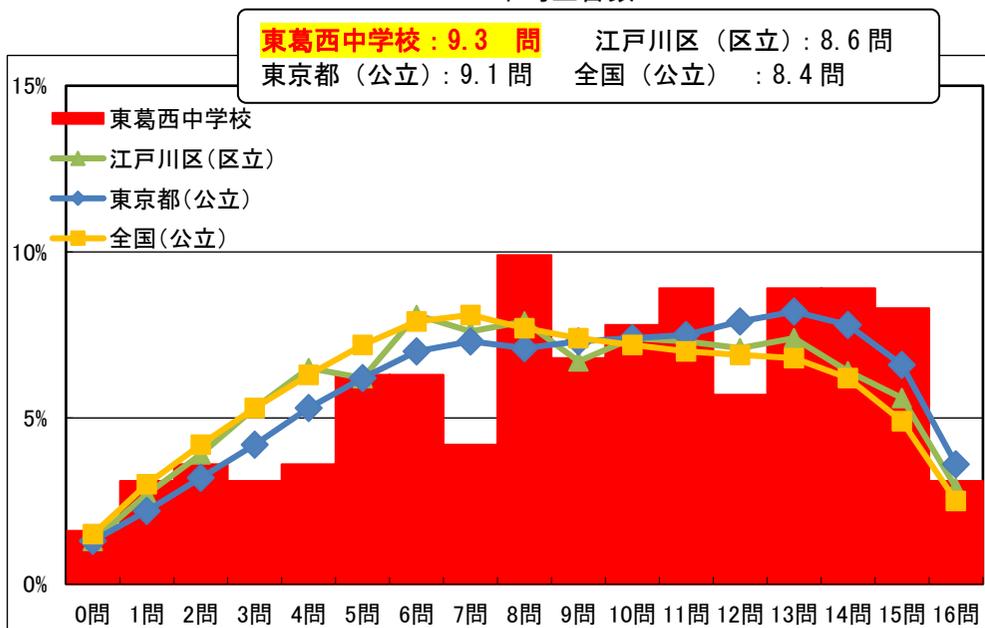


# 令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【数学】 東葛西中学校

## 正答数分布

平均正答数

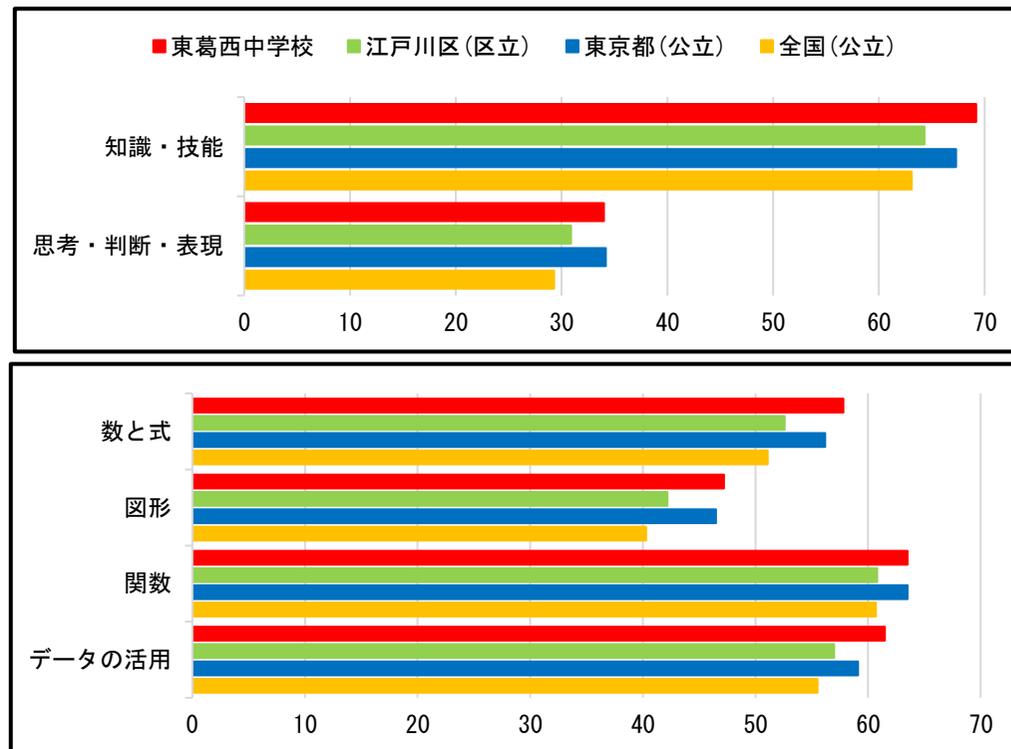


## <四分位における割合(都全体の四分位による)>

数 学	上位 ← 下位			
	A層 13~16 問	B層 9~12 問	C層 6~8 問	D層 0~5 問
東葛西中学校	29.2	29.2	20.4	21.3
江戸川区（区立）	22.3	28.5	23.6	25.6
東京都（公立）	26.2	30.1	21.4	22.3
全国（公立）	20.4	28.5	23.7	27.4

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。

## 「領域別」の結果



## 【平均正答率の差】

東葛西中学校	58%
江戸川区（区立）	54%
東京都（公立）	57%
全国（公立）	52.5%
都との差	+1ポイント

## 【分析結果と授業改善に向けて】

全国・都・区の平均正答率を上回っている。またC・D層ともに全国・都・区平均以下になっている。評価の観点における「思考・判断・表現」が都の平均正答率に比べ0.2ポイント下回った。学習指導要領の領域については関数のみ都と同ポイントで他の領域はすべて上回っている。引き続き ICT 機器を効果的に活用し、基礎学力の確実な定着と発展的な課題を解決する実践的な力の育成を図っていく。